

令和7年度 中学生の「税についての作文」

沖縄県納税貯蓄組合連合会会長賞 「一人ひとりの小さな力」

平良中学校 小野寺 芽

みなさんは、「宿泊税」という税金について知っていますか。「宿泊税」とは、観光客がホテルや旅館など、宿泊施設に宿泊料金とは別に、払う必要のある税金のことです。二〇二五年七月の時点では、全国十二の地域・九の都道府県で導入されています。私が「宿泊税」について知ったのは、二年前の夏休み、母と福岡県へ旅行に行った時でした。ホテルのロビーでチェックインをしようとすると、母が事前に支払っていた宿泊料金とは別に、「宿泊税」として、二〇〇円を支払っていました。私ははじめ、「なぜ泊まるだけで税金？」と少し不思議に思っていたのですが、調べてみるとこの税は観光地にとって、とても大切な役割を果たしていることが分かりました。現在、日本では、特定の観光地に観光客が過度に集中し、その地域に住む住民の生活に悪影響を及ぼしてしまう「オーバーツーリズム」が深刻化しており、大きな問題となっています。実際、私が住む宮古島でも、このような問題は起きていて、人口五万人程の小さな島にたくさんの観光客が集中することで、島のあちこちが混雑し、島民の生活に支障をきたしている現状があります。ですが、「観光業」は観光地の経済や文化を支える、重要な産業であり、止めることはできません。とはいえ、それらの問題解決に必要な費用を全て住民の税金から賄うことは、とても難しい

ように感じます。そこで、重要な役割を果たすのが「宿泊税」です。「宿泊税」があることでまず住民の税負担を減らせるようになります。観光地の様々な問題解決に必要な、膨大な費用を観光客1人ひとりに少しずつ協力してもらうことで、住民の生活にしわ寄せがいくのを防ぐことができます。また、「宿泊税」でメリットを感じられるのは、住民だけではなくありません。例えば、この税を自然や環境の保全のために使えば、地域の自然を目的として訪れた観光客は、美しい景観を楽しむことができるし、道路などのインフラ整備に使えば、地域に初めて来た観光客でも、安心安全で快適な旅行を楽しむことができます。初めは「何のため？」と思っていた税金でも、調べてみると観光地に住む住民と、そこへ訪れる観光客、どちらにもメリットのあるとても重要な税金だと分かりました。私はまだ未成年で、税金を納める立場にはありません。ですが、「宿泊税」について学んでみて、理由もなくただ徴収される、そんな税金はきっと無いんだらうと感じました。税金は様々な分野で活用することのできる、幅広く役立つお金です。納めた納税者一人ひとりの思いがあるからこそ、より価値のあるものだと考えます。三年後、私が納税者という立場になった時は、税は誰かの暮らしや未来を支える力になる、と前向きに社会貢献のできる人になりたいです。